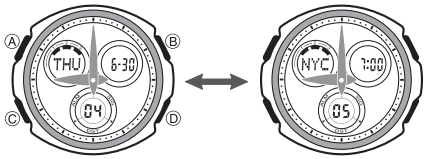
Operation Guide 3766

CASIO

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。

※デモ表示中は通常のボタン操作はできません。
また、電波受信も行ないません。



●デモ表示の解除

Ⓐ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ のいずれかのボタンを押します。

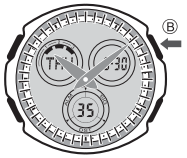
●デモ表示の設定

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも時刻を見ることができます。

※点灯時間は約 1.5 秒間と約 2.5秒間のいずれかを選ぶことができます。



■ご注意■

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 手動受信中は、ライトは点灯しません。

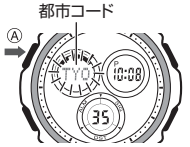
●ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

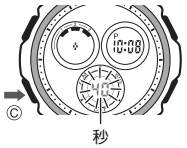
➡都市コードが点滅します。



2. 「秒」を点滅させる

Ⓒボタンを3回押します

➡「秒」が点滅します。

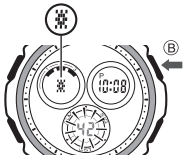


3. 点灯時間を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 2.5 秒間が切り替わります。

※ ✧ マーク＝約 1.5 秒間
✺ マーク＝約 2.5 秒間



4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

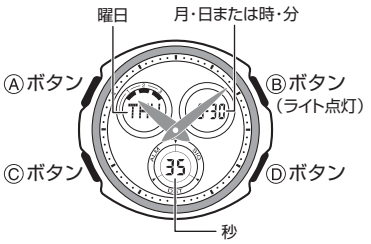
➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

操作のしくみと表示の見方

● Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、ハンドセットモードのまま２～３分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



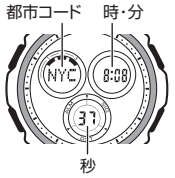
★曜日の見方
SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

★表示切替について
Ⓐボタンを押すごとに、右上のデジタル部の「月・日」または「時・分」が切り替わって表示されます。



ワールドタイムモード

世界48都市29タイムゾーンの時刻を簡単に知ることができます。



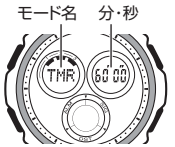
ストップウオッチモード

1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でします。



タイマーモード

1分単位で60分までセットでき、セットした時間を経過すると10秒間の電子ブザーが鳴ります。



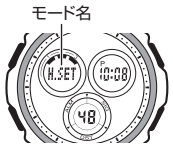
アラームモード

アラーム時刻のセットや時報のON/OFFができます。



ハンドセットモード

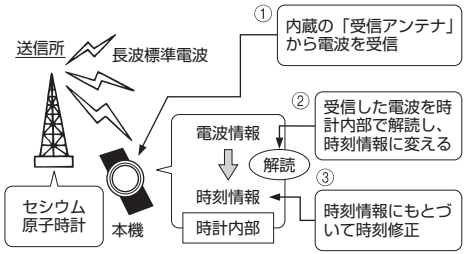
アナログ部の針をデジタル部に合わせることができます。



電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州の Fort Collins から送信されています。

正確な時刻情報をのせた標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループが運用しております。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。
詳しい情報は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページをご覧ください。
http://jjy.nict.go.jp
※ホームページのアドレスは変更になる場合があります。

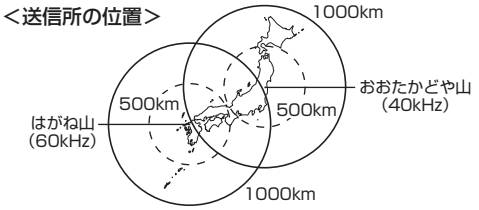
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。都市コードについては「■ 都市コード一覧」参照。

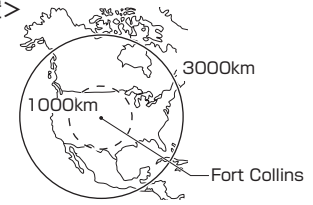
ホームタイム都市	受信電波
TYO、SEL	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYT	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼･夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）


高圧線、架線の近く


乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）


電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）


山の裏側…など

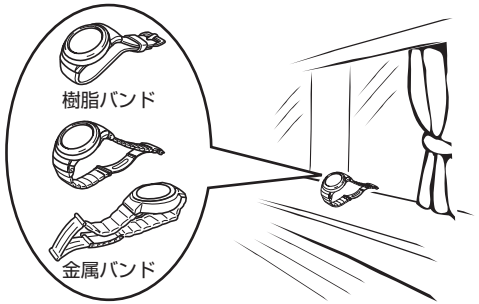
受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前12･1･2･3･4時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）
※自動受信が一度も成功しなかった場合のみ午前5時に受信を行ないます。
※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～７分です。
ただし、前回受信した局で受信できない場合は、最大 14 分かかる場合があります。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを約2秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は受信インジケーターが表示され、受信状態によって変化します。

★ 受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※受信中は Ⓓ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。
受信インジケーターが3つとも点灯します。(翌日の午前0時に消灯します)

★受信が失敗すると（ERR 表示）

時刻修正は行なわれず、“ERR”を表示します。
※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。

●受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信インジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約 10 秒ほどかかります。

●受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

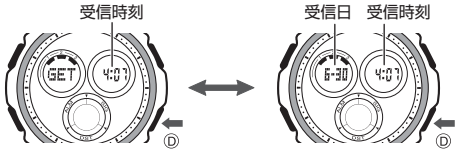
Ⓓ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。

※"GET"と受信日が２秒ごとに切り替わって表示されます。

※時刻モードに戻すには、もう一度Ⓓボタンを押します。

※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



■自動受信の設定

自動受信のON／OFFを切り替えることができます。

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、自動受信＝ON」でセットされています。

※ホームタイム都市がTYO、SEL、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYTのとき、以下の操作を行なうことができます。

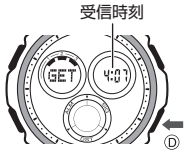
1. 受信日時を表示させる

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡受信日時を表示します。

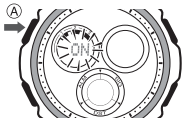
※ 何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡表示が点滅して、自動受信の設定になります。



3. セットする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押して、自動受信のON/OFFを設定します。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。

※ 時刻モードに戻すには、Ⓓボタンを押します。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



★ホームタイム都市がTYO、SELの場合

● ON 自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
● OFF 自動受信はOFFになります。

★ホームタイム都市がYVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYTの場合

● ON 自動受信はONになり、コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。
● OFF 自動受信はOFFになります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
※タイマー計測中は、受信できません。

●電波を受信するとデジタル部が先に修正され、それに連動してアナログ部（針）が修正されます。
アナログ部が正しい時刻を示すためには電波受信前に必ずデジタル部とアナログ部の時刻を合わせてください。

●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。

●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

1. 電波が受信できないのですが？

●電波の送信が中断していませんか。
電波時計が利用している標準電波（JJY）は、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）により運営されておりますが、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。

●電波が受信できない地域にいませんか。
電波受信ができる地域は、「■ 電波の受信範囲の目安」をご覧ください。

●電波受信環境が悪い場所にいませんか。
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行なってください。（「■ 使用場所について」参照）

●ホームタイム都市が間違って設定されていませんか。
ホームタイム都市の設定が東京（TYO）、ソウル（SEL）、バンクーバー（YVR）、ロサンゼルス（LAX）、エドモントン（YEA）、デンバー（DEN）、メキシコ（MEX）、ウィニペグ（YWG）、シカゴ（CHI）、マイアミ（MIA）、トロント（YTO）、ニューヨーク（NYC）、ハリファックス（YHZ）、セントジョンズ（YYT）以外の場合は、電波受信を行ないません。「■ セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

●自動受信設定がOFFになっていませんか。
「■ 自動受信の設定」をご覧になり、自動受信設定をONに設定してください。

●自動受信を行なう時間帯（午前12・1・2・3・4時および5時）に、時刻モードまたはワールドタイムモード以外になっていませんでしたか。
自動受信は時刻モードまたはワールドタイムモードでしか行なわれませんので、自動受信時間帯は他のモードに切り替えないでください。

●タイマーが計測中ではありませんか。
タイマー計測中は電波受信を行ないませんので、受信を行なう時間帯や手動受信の時は、タイマー計測を行なわないでください。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれているのですが？

●電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないますが、時計内部の演算処理等により若干（1秒未満）のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がちょうど1時間進んでいるのですが？

●サマータイムの設定がONになっていませんか。「■ セットのしかた」をご覧になり、サマータイムの設定をAUTOまたはOFFにしてください。

4. 電波を受信したのに、時刻がくるっているのですが？

●ホームタイム都市の設定が日本（TYO）ではなく、外国都市に設定されていませんか。「■ セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

5. デジタル部とアナログ部の時刻が合わないのですが？

●電波を受信するとデジタル部が先に修正され、デジタル部の時刻を進めた（戻した）分だけ、アナログ部も修正されます。
針位置がずれていると電波受信しても正しい時刻を示しませんので、「■ アナログ部（針）の修正」をご覧になり、アナログ部をデジタル部の時刻に合わせてください。

6. 自動受信の設定ができないのですが？

●ホームタイム都市の設定が東京（TYO）、ソウル（SEL）、バンクーバー（YVR）、ロサンゼルス（LAX）、エドモントン（YEA）、デンバー（DEN）、メキシコ（MEX）、ウィニペグ（YWG）、シカゴ（CHI）、マイアミ（MIA）、トロント（YTO）、ニューヨーク（NYC）、ハリファックス（YHZ）、セントジョンズ（YYT）以外の場合は、電波受信を行ないません。「■ セットのしかた」をご覧になり、ホームタイム都市を正しく設定してください。

7. 自動受信は何時頃行なわれるのですか？

●自動受信は電波状況の良い夜間に行なわれます。夜間にお休みのときは、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

8. 手動受信のしかたは？

●時刻モードのときにⒹボタン（右下）を約2秒間押し続けます。“ピッ”と確認音が鳴って手動受信が開始されますので、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

9. 受信日時の確認のしかたは？

●時刻モードのときにⒹボタン（右下）を1回押します。電波受信が成功して、時刻修正された日時が表示されます。時刻モードに戻すには、もう一度Ⓓボタンを1回押します。

★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	ON	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AUTO	電波受信による自動切替

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

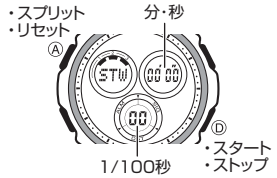
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク“SPL”点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⒸボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■ご注意■
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

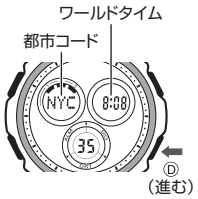
* セットについては「ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

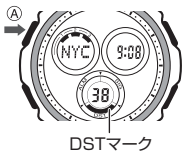
サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡Ⓐボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、ホームタイムで設定している都市を表示しているときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11.0	パゴパゴ	ROM	1.0	ローマ
HNL	−10.0	ホノルル	BER	1.0	ベルリン
ANC	−9.0	アンカレジ	STO	1.0	ストックホルム
YVR	−8.0	バンクーバー	ATH	2.0	アテネ
LAX	−8.0	ロサンゼルス	CAI	2.0	カイロ
YEA	−7.0	エドモントン	JRS	2.0	エルサレム
DEN	−7.0	デンバー	MOW	3.0	モスクワ
MEX	−6.0	メキシコシティ	JED	3.0	ジェッダ
YWG	−6.0	ウィニペグ	THR	3.5	テヘラン
CHI	−6.0	シカゴ	DXB	4.0	ドバイ
MIA	−5.0	マイアミ	KBL	4.5	カブール
YTO	−5.0	トロント	KHI	5.0	カラチ
NYC	−5.0	ニューヨーク	DEL	5.5	デリー
CCS	−4.0	カラカス	DAC	6.0	ダッカ
YHZ	−4.0	ハリファックス	RGN	6.5	ヤンゴン
YYT	−3.5	セントジョンズ	BKK	7.0	バンコク
RIO	−3.0	リオデジャネイロ	HKG	8.0	香港
RAI	−1.0	プライア	SEL	9.0	ソウル
LIS	0.0	リスボン	TYO	9.0	東京
LON	0.0	ロンドン	ADL	9.5	アデレード
BCN	1.0	バルセロナ	GUM	10.0	グアム
MAD	1.0	マドリード	SYD	10.0	シドニー
PAR	1.0	パリ	NOU	11.0	ヌーメア
MIL	1.0	ミラノ	WLG	12.0	ウェリントン

※この表は2004年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。

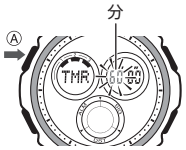
■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「分」が点滅します。

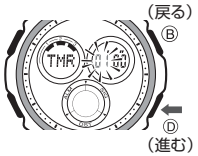


2. 「分」のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

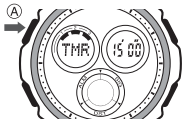


3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



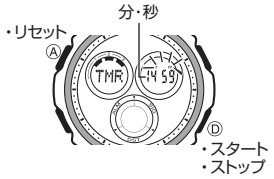
■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

〈ご注意〉
タイマー計測中は電波受信を行ないませんので、受信を行なう時間帯や手動受信の時は、タイマー計測を行なわないでください。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押して、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

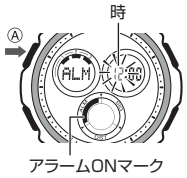
■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「時」が点滅します。

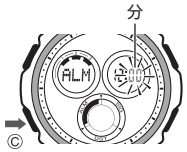
※ アラーム ON マークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

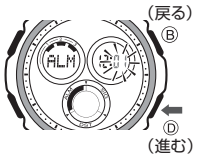


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



*2.～3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

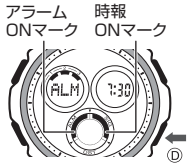
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

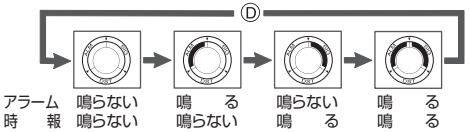
■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにアラームONマークと時報ONマークが点灯／消灯を繰り返します。

※それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。





■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

＜シンクロ機能＞

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部（針）も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り（正転方向）に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

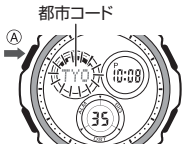
■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡都市コードが点滅します。



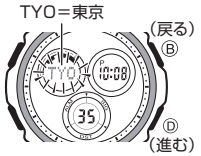
2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。

*「■ 都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの設定になります。



4. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



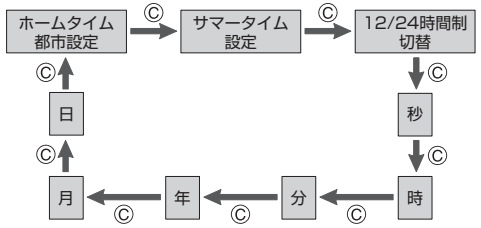
● AUTO 電波受信により、自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。 ※ホームタイム都市がTYOのときは日本のサマータイム情報に、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYTのときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。 ※自動切り替えの設定はホームタイム都市がTYO、YVR、LAX、YEA、DEN、MEX、YWG、CHI、MIA、YTO、NYC、YHZ、YYTに設定されている場合のみできます。
● OFF サマータイムはOFFになります（通常時間）。
● ON サマータイムはONになります（夏時間）。 ※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





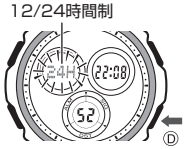
6. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替」のとき

Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。

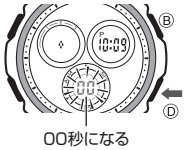


b.「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00 ～ 29 のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)

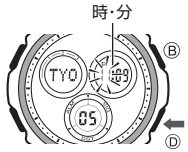
※秒が点滅しているときに Ⓑ ボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます（「ライト点灯について」参照)。



c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アナログ部（針）の修正

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

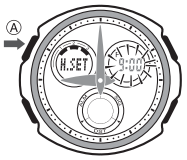
準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「時・分」が点滅します。



2. アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに 1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早送りします。



＜針の自動早送り＞

●Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

●自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

●針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。報音終了後、再び動き出します。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。